

2/6 大山産田芋をPR
2月6日は宜野湾市ターウムの日!



「宜野湾市ターウムの日」と条例で定められている2月6日に、市役所玄関前で大山産田芋を使ったジューシーと、沖縄国際大学の学生が考案した田芋プリンが無料配布され、市内外へターウムの魅力をアピールしました。ターウムは伝統野菜であり、市の特産品です。ジューシーを試食した市民からは「田芋の味がしっかりしていて、美味しい」と絶賛の声が上がりました。

2/5 普天間飛行場への外来機の飛来による騒音被害の常態化について抗議・要請



ジェット戦闘機等の外来機の飛来が相次ぎ、100デシベル以上の騒音が何度も確認されるなど、外来機の飛来が常態化している状況を受け、沖縄防衛局長、外務省沖縄担当大使、第三海兵遠征軍司令官、沖縄米国総領事へ抗議・要請を行いました。松川市長は、市民が実感できる危険性除去及び基地負担軽減を強く求めているなかで、さらなる負担となる騒音は断じて容認できるものではないとして厳重に抗議するとともに、普天間飛行場の一日も早い閉鎖・返還と速やかな運用停止をはじめとする返還までの間の危険性除去及び基地負担軽減を早急に実現するよう強く求めました。

2/1 企業に求められる知識を習得
島袋さん、日商簿記2級取得



島袋睦月さん(浦添商業高校2年)が母校である真志喜中学校を訪ね、先日行われた日商簿記検定2級に合格したことを報告しました。日商簿記2級は、全国の合格率も直近の2回とも14.7%、15.6%と低く、経営管理に役立つ知識として、最も企業に求められる資格のひとつであり、企業の財務担当者に必須の資格です。島袋さんは、資格取得についての喜びを笑顔で語りました。

2/5 数々の予選を勝ち抜き全国大会へ
第2回WKOジャパンアスリートカップ出場



昨年開催された「ファイティングオープントーナメント2018全沖縄空手選手権大会」をはじめとする予選を勝ち抜き、見事全国大会の「第2回WKOジャパンアスリートカップ」へ県代表として派遣されることとなった白蓮会館沖縄支部宜野湾道場の真境名一聡さん、真境名拓哉さん、玉那覇ひまりさん、阿部慈輝さん、北池 枢さん、松川巨煌さんが市役所を訪れ、大会に向けての意気込みを語りました。

2/6 多くの種目で好成績を収める
第70回県民体育大会結果報告

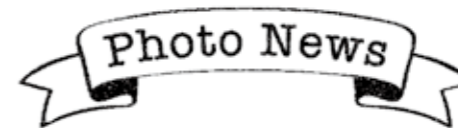


昨年11月に開催された「第70回沖縄県民体育大会」に出場した選手の皆さんと、市体育協会関係者(石川正信会長)の皆さんが大会の報告を行いました。市選手団はバスケットボール女子優勝(16連覇)、ハンドボール男子優勝、空手道男女総合2位(男子1位)、柔道3位、サッカー4位の成績を収めました。女子バスケットボールの新地里奈さんは「試合では宜野湾市らしさを出せた。今後も17連覇、18連覇と目指していきたい」と語りました。

宜野湾市のいろいろな話題



こみゆにてい 見聞録



— 市の動きやまちの出来事をお届けします! —

1/20 ピカピカの新1年生に笑顔を届ける
ランドセル贈呈式

市母子寡婦福祉会(豊島蓉子会長)によるランドセル贈呈式が市社会福祉協議会で行われました。ランドセルは、北海道在住の男性と市在住の男性、県母子連合会より寄贈され、児童の手に渡りました。受け取った児童たちは、満面の笑みで「どうもありがとうございました。学校でもがんばります」と元気にあいさつしました。また、市認可保育園園長会からもランドセル購入のための寄附金の贈呈がありました。



1/27 新春の風物詩
サンフティーマ18周年祭・もちつき大会



(株)ティ・エム・オ普天間(與那嶺務代表取締役社長)が管理運営しているサンフティーマで、サンフティーマ18周年祭&新春もちつき大会が開催されました。合気道や空手の演武、キッズダンス、クラウンジョージの大道芸などが披露され、会場は賑わいをみせました。また、もちつき大会では多くの子どもたちが参加し、大きな杵に苦戦しながらも、もちつきを楽しんでいました。

1/31 受け継がれる真志喜大つなひき
はごろも小3年生158名に出前授業

約300年続く地域の伝統文化「真志喜大つなひき」の魅力と素晴らしさを学ぶ出前授業が実施されました。沖縄女子短期大学の又吉斎さんによる映像やクイズ、伊差川真志喜自治会長や自治会の皆さん、琉球大学学生ボランティアによる綱作り、道ジュネー、旗頭などの実演も行われました。児童は本物の迫力を肌で感じ、最後にそれぞれの願いを込めお守りを作りました。本事業は「宜野湾市地域づくり推進事業基金助成金」を活用し、にぬふあぶしがお手伝いしました。



1/31~2/6 協働のまちづくり~沖縄学入門フィールドワーク~
沖縄と東京圏の学生 交流し学ぶ



桜美林大学と沖縄の学生が市をフィールドに基地問題と地域課題を学びました。学生たちは、嘉数高台公園や新城自治会を訪ね平和教育と伝える事の意味・可能性を考え、ターウムの収穫体験から伝統文化継承の意義と課題を考えました。新城・上大謝名・普天間3区自治会では地域交流を通して地域課題を考え、上大謝名自治会では公民館に宿泊し、住民となって「協働」を実践しました。